

11/1・2 姉妹都市屋久島町との親睦を深める
屋久島町地域女性団体連絡協議会・町地域女性の会交流事業

屋久島町から14人が来町し、研修・活動報告会を行いました。
初日の活動報告会では、コロナ禍の中で活動するための工夫や課題を話しました。その後は交流会でさらに親睦を深める楽しいひとときを過ごしました。2日目は、総合体育館建設現場見学や防災センター内見学と研修会を行いました。
2日間の交流をとおして、3年ぶりに相互の親睦を深めることができました。



町地域女性の会の活動を報告する
会員の谷川直子さん(青葉台)

10/11~14 白熱した展開を制する
第61回菊陽町協会長旗争奪軟式野球ナイター大会

第61回菊陽町協会長旗争奪軟式野球ナイター大会が、菊陽町民グラウンドで開催されました。今大会には3チームが参加し、総当たり戦でしのぎを削りました。2チームが同勝率で並ぶ展開となりましたが、失点率が少なかったダンディーズが優勝を飾りました。大会の結果は次のとおりです。
優勝 ダンディーズ
準優勝 富士フィルム九州



優勝したダンディーズ

11/8 442年ぶりの天体ショー
菊陽西小学校で月食観望会

菊陽西小学校の運動場で「ルナエクリプスパーティー(月食観望会)」が行われました。理科ボランティアの樋口陽子さん(光2町内)や理科専科の先生を中心に、160人以上の児童と保護者が一緒になって、天体望遠鏡で皆既月食を見ました。
今回は、1580年7月以来、442年ぶりに皆既月食と惑星食(天王星食)が同時に起きました。次に、日本で皆既月食に惑星食が起こるのは、2344年7月で322年後です。徐々に月が赤くなっていく様子に児童達は、歓声をあげていました。



月食を観望する親子

11/2 食品衛生優良施設に
株式会社オーケーフーズに厚生労働大臣表彰

優良な食品衛生施設として他の模範となる施設を表彰する厚生労働大臣表彰を株式会社オーケーフーズが受賞しました。
株式会社オーケーフーズの代表取締役の大島政治さんは、「全国でも受賞するのが難しい貴重な賞だ。工場立ち上げから職員一丸となって続けている食品衛生に関する取り組みが評価されて嬉しい」と話しました。



表敬に訪れた大島代表取締役(中央)、
食品衛生協会竹尾副会長(左)

10/22 空き缶で炊き込みご飯できた！
「エコクッキング」野外活動

ふれあいの森研修センターの講座「エコクッキング(野外)」で、電気やコンロを使わずに空き缶を利用して炊き込みご飯を作りました。
下の空き缶はかまど風に細工し、上に載せる缶には米と具材を入れ、屋外に設置したブロックの上で下の缶に入れた固形燃料に火をつけ、炊きました。
15分ほどで、鶏肉入りの炊き込みご飯ができあがり、試食した全員が「これはおいしい！」と笑顔を見せました。
参加した児童の一人は「空き缶でご飯ができるのには驚きました。簡単にできるエコな料理で勉強になりました」と話し、保護者からは「電気を使わず簡単においしい炊き込みご飯ができ、今度は家の庭でトライしてみます」と意欲的でした。



空き缶かまどを製作中



かまどを見つめる参加者

11/11 月にうさぎがいたよ！
星空観望会～私たちが住む町の夜空を見上げよう～

生涯学習課主催講座をふれあいの森研修センターで開催し、町内の小学生22人が参加しました。講師に樋口陽子さん(光2町内)を招き、星座早見盤の使い方を学んだあと、木星や土星、月などを望遠鏡で観察しました。
参加者の一人は、「一番好きな土星を初めて見ることができてうれしかったです。また、木星のしましまや、月のクレーターが見れたり、新しい経験ができて良かったです」と感想を述べました。



学生ボランティアの補助で
望遠鏡を覗く参加者

11/9 ランプはまるで夢の国
創作クラフト「LEDランプシェード」作り

ふれあいの森研修センター主催講座「創作アートクラフト」が行われました。
雪だるまや花、教会を描いたクリアシートに油性ペンで色を付けたシェードを台座になる円形LEDライトの周囲に合わせてランプを作りました。
最後は、暗くした部屋に作品を並べシェードに映る光のランプを鑑賞しました。参加した講座生は「さっそく家に飾ります。夜が楽しみです」と笑顔で話しました。



完成したランプシェード

11/1 地域環境に貢献
菊陽町造園協会除草ボランティア

菊陽町造園協会(会長 嶋田敬之さん)の除草ボランティアが、町道川久保下津久礼線で実施され、町内で造園業を営んでいる7社が参加しました。
地域の快適な環境づくりのために例年実施しており、今年は先般開催された高校駅伝のコースになっている道の除草を行いました。



菊陽町造園協会の皆さん

10/28 生垣がつなぐ学生と区民
第39回鉄砲小路生垣剪定作業

東海大学の学生19人と地域住民16人が、鉄砲小路区の生垣約4^{キロ}をせん定し、交流を深めました。
歴史ある生垣の保存と緑あるまちづくりを進めるために、昭和57年から学生有志が続ける伝統行事です。
参加した学生たちは「伝統ある行事に参加できて勉強になりました」、「おもてなし隊の皆さんが作ってくれたあんもちだご汁やゆで卵がおいしかった」と話し、交流を深めることができました。



生垣の間に生えた竹を刈り取る
東海大学生

11/19 プログラミングにチャレンジ!
令和4年度 toio ワークショップ開催

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)主催で toio ワークショップが、町内の小学1~4年生を対象に開催されました。令和2年度から毎年開催しているこのワークショップは2年間、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催でしたが、今年度は、実地で行われました。当日は、主催者から同社でプログラミングがどのように使われているかなど説明があり、その後親子でプログラミングに挑戦。会場内は、キューブ型ロボットをどのように動かせばよいか頭を悩ませる姿や、思い通りに動かせたときの喜びの音があがっていました。



親子で toio にチャレンジ

11/23 雨ニモマケズ決行!
鉄砲小路区ふるさとふれあい祭り

地域住民の交流の場として祭りが開催されました。地域の人が出店するおしるこやピザ、射的などの出店を多くの住民が楽しみました。他にもバナナのたたき売りやフラダンスなどがステージで行われました。来場した人は、「雨だけど、たくさんのお店があって楽しい。来てよかった」と笑顔を見せました。



よく狙って!鉄砲小路にちなんで射的に挑戦

11/20 秋の味覚を味わって
三里木で秋のサンマ祭り

三里木商工繁栄会が3年ぶりとなる秋のサンマ祭りを三里木駅前広場で開催し、その場で焼いた300匹のサンマとみかんやお菓子を来場者にふるまいました。サンマをふるまわれた宮本千穂さん(三里木北)は「サンマは大好き。食べるのが楽しみです」と満面の笑みを浮かべました。



焼きたてのサンマをもらいました

11/24 初代全国チャンピオン!
スポーツウエルネス吹矢

「ねんりんピックかながわ2022」に団体で出場した川畑延洋(杉並台)さんの表敬訪問が、町長室で行われました。川畑さんは団体混成の部に出場。全国から選ばれた7チームの中で、見事優勝を掴み取りました。本種目は今年度から正式種目として採用。そのため、記念すべき第1回目の優勝チームとなりました。川畑さんは「優勝できて嬉しいです。誰でもできるので、もっと広がってほしいです」と話しました。



笑顔で報告をする川畑さん

11/24 民謡民舞全国大会優勝
国土交通大臣賞受賞

令和4年度民謡民舞全国大会(公益財団法人日本民謡協会主催)民謡壮年部旗戦(松の組)が10月29日、神奈川県で行われ、県代表として出場した外村信子さん(青葉台)が「肥後五十四万石」を熱唱。見事優勝を果たし、国土交通大臣賞を受賞した外村さんは表敬訪問し、町長に喜びを報告しました。また、今後の活動について「日本の伝統である民謡を後世に歌い継いでいきたい。町の子どもたちにも民謡を知ってもらう活動を行いたい」と笑顔で語りました。



表敬訪問した外村さん

11/11・16 鼻ぐり井手を知ってもらおう
南米ボリビアの視察団と湧心館高校の生徒へガイド

11月11日、日本の水利施設を視察している南米ボリビアの視察団が鼻ぐり井手を訪れ、町文化財ボランティアガイドの会がガイドしました。視察団はボリビア・コチャバンバ県知事と職員10人。一行は、鼻ぐり井手の仕組みに感心し、「鼻ぐりがボリビアでも作れないか」と話していました。16日には県立湧心館高校の1年生100人が鼻ぐり井手を見学し、「400年前から現役で活躍しているのはすごい」と話しました。



南米ボリビアの視察団との記念撮影

11/18 地域の皆さんに頼られる存在に
住まいのことならおまかせ隊がカーブミラー清掃活動

地域の安心安全のため、町内のカーブミラー200本を隊員21人で拭き上げました。この活動は、住まいのことならおまかせ隊が町民の安全安心な暮らしを守りたいと発足以来続けているものです。隊長の浦上茂さんは、「始まりは、保育園に『飛び出し危険』の看板を作ったことだった。こうやって形を変えて活動を続けることができ嬉しい。今後も町の皆さんのおまかせ隊として知ってもらい頼っていただきたい」と笑顔を見せました。



中学校前のカーブミラーの清掃を行う隊員

11/18 子どもたちに楽しんでほしい
優貴保育園で人形劇

優貴保育園の子どもたちに保護者会から人形劇がプレゼントされ、「ころりところげた木の根っこ」「ブレーメンの音楽隊」が上演されました。観劇した子どもたちは生き生きとした人形の動きに夢中になっていました。須波七海さん(柳水)は「おおかみがこけるのが楽しかった」、首藤諒成さん(駅前)は「手と足がいきいきと動くのがすごいと思った」と感想を話しました。



コミカルな人形の動きに思わず笑顔になる園児

11/19 3年ぶりに開催!
「第12回鼻ぐり井手祭」

鼻ぐり井手公園展望所で行われました。参加者は、地域住民・菊陽南小学校児童・保護者など約100人。昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していましたが、今年度は祭の継続を願い、規模を縮小して開催。馬場楠の獅子舞演舞と、菊陽南小学校3・4年生児童による音楽劇「後の世のために~人の願いがこめられた鼻ぐり井手~」を披露しました。小雨まじりの天候で、半日の開催でしたが、祭の復活を願っていた来場者からは大きな拍手が送られました。森田彩生さん(菊陽南小学校4年生)は、「劇をとおして、たくさんの人に鼻ぐり井手のことを知ってもらおうと思いました。精一杯がんばりました。私たちはこれからも大切な鼻ぐり井手を守っていきます」と話しました。



馬場楠の獅子舞演舞の様子



菊陽南小学校音楽劇

みんなの広場

投稿募集中



皆さんが町民の皆さんに伝えたい情報や、活躍を掲載します。掲載月の2カ月前の月の15日までにご連絡ください。

☎ 総合政策課 企画政策係
☎ (232) 2112
✉ kouhou@town.kikuyo.lg.jp

「ほほえみの会」発足16年

武蔵ヶ丘7町内にボランティア「ほほえみの会」が発足して、令和4年12月で16年を迎えました。女性10人と顧問の男性1人で毎週(火)の午前中に武蔵ヶ丘7町内の管理棟で「きくちゃん体操」を行っています。高齢者向けの健康維持体操、顧問による小咄、ハンドベルなどでにぎやかな集いです。毎回約26人の住民が参加しています。この活動が厚生労働省から、高齢者ができる限り自宅に近い居住環境の中で生活を営むための先進的事業と認められ、平成28年度に国の補助金で改築を行うことができました。

この会は、きくちゃん体操以外にも、サロンの運営や敬老会の支援、子ども会との交流、老健施設、保育園訪問など広く活動中。会員も高齢化しつつありますが、町内に活気を生んでいます。興味のある人は一度のぞいてみてください。

元自治会長 西田 力男(武7町内)

あなたも参加しませんか

あさひタイム開催中

令和4年に完成したあさひヶ丘区公民館で、地域住民の交流の場として「あさひタイム」が開催されています。公民館活動として定着させたいと、あさひヶ丘区役員会と社会福祉協議会の協賛を得て、地域サポーター講座に参加したメンバーと民生委員が「たのしみ隊」として運営しています。毎月1日に開催されるこの活動は、午前10～11時に健康相談とお茶タイム、午前11時～正午にお楽しみタイム(毎回内容を変えて楽しめるイベントを企画)、正午～午後3時に昼食とお茶タイム

ムを行っています。12月1日の音楽療法に参加された上野ミサさん(あさひヶ丘)は「初めて参加しましたが、とても楽しかったです。また機会があれば参加したいです」と笑顔で話しました。主催のたのしみ隊は、「今後に向けて一緒に活動するメンバーと参加者をもっと増やしていきたい」と話しました。
☎ 逸見 090(1342)4663



楽しく体を動かす参加者

新春企画

菊池地域4市町広報紙読者プレゼント

菊池地域広報紙の共同企画として、菊池地域の各市町から「わがまち自慢」を抽選で8組へプレゼントします。皆さんの応募をお待ちしています。

プレゼント内容(各2組)

- ①菊陽町 さんさんの湯入浴券(2枚1組) ゴロツと!丸ごとにとんじんとチキンのカレー(2食)
- ②菊池市 七城のこめ(2kg)
- ③合志市 ユーパレス弁天 温泉入浴券(2枚1組) 赤大豆焼きアーモンドきなこ
- ④大津町 からいも食べ比べセット(ほりだしくん・べにはるか合計5kg)

◆応募方法

はがきに①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤菊陽町の魅力、⑥「広報きくよう」への意見・感想を書いて、〒869-1192(住所不要) 菊陽町役場総合政策課「読者プレゼント」係にご応募ください。

◆選定方法

菊陽町在住の応募者から抽選でプレゼントします。応募は1世帯1通までです。プレゼントの選択はできません。

◆締切日 1月31日(火) 当日消印有効

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。個人情報は賞品の発送以外には一切使いません。

11/26 あんもちだご汁を作ったよ！ 菊池地域郷土料理あんもちだご汁作り

生涯学習課主催講座を中央公民館で開催し、町内の小学生親子6組13人が参加しました。講師は、町生活研究グループ連絡協議会の4人。古田朱美さん(新山)からあんもちだご汁の由来を聞いた後、地元の食材を使って親子で調理し、試食しました。参加者は、「食べ物が少なかった時のごちそうとして食べられていたと聞いて、成り立ちに納得し、ありがたいと思いながら食べました。菊池地域の郷土料理をもっと学びたいと思いました」と感想を話しました。



さつまいもと黒糖で作ったあんを生地にもむ様子

11/26 子どもと地域のつながりを 菊陽中部小校区地域ふれあい交流活動

菊陽中部小学校の3～6年生30人と中部小学校区青少年健全育成協議会の役員や地域の住民26人がニュースポーツとキーホルダー作りを通して交流を深めました。開会式では、サプライズでくまモンが登場。くまモン体操で準備運動を行った後、グループに分かれ4種目のニュースポーツを楽しみました。また、色とりどりのレジンキーホルダーを作りました。参加した児童は「地域の人と交流ができて楽しかった」と話しました。



五目お手玉で交流を深める参加者たち

11/29 先輩の技 受け継ぐ しめ縄作り学ぶ

菊陽北小学校5年生が北小校区青少年健全育成協議会の協力を得て、「まが(馬鍬)」や「わらこなし(藁打ち機)」など昔の農具の使い方や、わらのない方を教わりながらしめ縄作りを体験しました。

初めての体験に四苦八苦していましたが、先輩の手ほどきを受けて、全長3mほどのりっぱなしめ縄ができあがり、体育館に児童の歓声が上がりました。参加した児童の一人は「今日学んだことを忘れず、この伝統を受け継いでいきます」と地域の文化を守る思いを述べました。



先輩の技を学ぶ児童

11/28 目指せ！手洗いマイスター 菊陽町食品衛生協会 手洗い講習会

町食品衛生協会主催の手洗い講習会が菊陽西小学校で行われました。受講したのは5年生。手についている菌の説明を受けた後、専用のクリームを付けて、まずは普段通りの手洗いを行いました。専用の機械で手を見てみると、洗い残しがたくさん見えました。そこで、正しい手洗いの仕方「あわあわ手洗いのうた」で実践。最後に、講習会受講者に手洗いマイスター認定証が授与されました。

渡邊紗也さん(沖野)は「爪が洗いづらかった。正しい手洗いの仕方を教えてもらったから、きれいに洗えた」と話しました。



洗い残しを機械で確認